

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 3 日 (2015.9.3)

【公開番号】特開 2014-60775 (P2014-60775A)

【公開日】平成 26 年 4 月 3 日 (2014.4.3)

【年通号数】公開・登録公報 2014-017

【出願番号】特願 2013-235435 (P2013-235435)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 16/28 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 16/28 1 3 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 9 日 (2015.7.9)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 7】

UE が 2 つ以上の送信器アンテナを有している場合に、SR S 活性化は、これらのアンテナのサブセットだけに適用され得る。多重アンテナサブセットの活性化を示すための第 1 の方法は、明示的なシグナリングを通して行われる。“SR S 活性化”IE でのビットの個数は、可能なすべてのアンテナサブセットをアドレッシングすることができなければならない。例えば、2 個又は 4 個の送信器アンテナを有する UE において、表 3 に示すように、2 ビット“SR S 活性化”IE は、UE により解釈されることができる。同一の原理は、UE 送信器アンテナの個数がさらに大きい場合に拡張されることができる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信システムの基地局におけるユーザ端末機 (User Equipment: UE) の基準信号 (reference signal: RS) 送信を制御する方法であって、

RS 活性化 (RS activation) 情報要素 (Information Element: IE) を含むダウンリンク制御情報 (Downlink Control Information: DCI) を UE に送信するステップを含み、

多重 UE 送信器アンテナからのデータ送信が存在する場合、前記 RS 活性化 IE は二つの 2 進要素を含み、

単一 UE 送信器アンテナからのデータ送信が存在する場合、前記 RS 活性化 IE は一つの 2 進要素を含み、

前記 DCI は信号送信を構成する IE を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記 UE は RS を一度送信することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 RS 活性化 IE によりトリガー (trigger) される RS 送信が前記基地局から前記 U

E に対して以前に構成された、同じタイプの R S 送信が周期的に発生する場合と同じ場合で発生される場合、前記 U E は、前記 R S 活性化 I E によりトリガーされる R S のみを送信することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 R S 送信のパラメータは、前記基地局から上位階層シグナルリング(higher layer signaling)を通して前記 U E で構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

通信システムにおけるユーザ端末機(User Equipment: U E)の基準信号(reference signal: R S)送信を制御する方法であって、

多重 U E 送信器アンテナからのデータ送信が存在する場合、基地局から二つの 2 進要素を含む R S 活性化(RS activation)情報要素(Information Element: I E)を含むダウンリンク制御情報(Downlink Control Information: D C I)を受信するステップと、

単一 U E 送信器アンテナからのデータ送信が存在する場合、前記基地局から一つの 2 進要素を含む R S 活性化 I E を含む D C I を受信するステップと、を含み、

前記 D C I は信号送信を構成する I E を含むことを特徴とする方法。

【請求項 6】

前記 U E は R S を一度送信することを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 R S 活性化 I E によりトリガー(trigger)される R S 送信が前記基地局から前記 U E に対して以前に構成された、同じタイプの R S 送信が周期的に発生する場合と同じ場合で発生される場合、前記 U E は、前記 R S 活性化 I E によりトリガーされる R S のみを送信することを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 R S 送信のパラメータは、前記基地局から上位階層シグナルリング(higher layer signaling)を通して前記 U E で構成されることを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

通信システムにおける基地局であって、

R S 活性化(RS Activation)情報要素(Information Element: I E)を含むダウンリンク制御情報(Downlink Control Information: D C I)を U E に送信する送信器を含み、

多重 U E 送信器アンテナからのデータ送信が存在する場合、前記 R S 活性化 I E は二つの 2 進要素を含み、

単一 U E 送信器アンテナからのデータ送信が存在する場合、前記 R S 活性化 I E は一つの 2 進要素を含み、

前記 D C I は信号送信を構成する I E を含むことを特徴とする基地局。

【請求項 10】

前記 U E は R S を一度送信することを特徴とする請求項 9 に記載の基地局。

【請求項 11】

前記 R S 活性化 I E によりトリガー(trigger)される R S 送信が前記基地局から前記 U E に対して以前に構成された、同じタイプの R S 送信が周期的に発生する場合と同じ場合で発生される場合、前記 U E は、前記 R S 活性化 I E によりトリガーされる R S のみを送信することを特徴とする請求項 9 に記載の基地局。

【請求項 12】

前記 R S 送信のパラメータは、前記基地局から上位階層シグナルリング(higher layer signaling)を通して前記 U E で構成されることを特徴とする請求項 9 に記載の基地局。

【請求項 13】

通信システムにおけるユーザ端末機(User Equipment: U E)であって、

多重 U E 送信器アンテナからのデータ送信が存在する場合、基地局から二つの 2 進要素を含む基準信号(reference signal: R S)活性化(activation)情報要素(Information Element: I E)を含むダウンリンク制御情報(Downlink Control Information: D C I)を受信して、単一 U E 送信器アンテナからのデータ送信が存在する場合、前記基地局から一つの

2 進要素を含む R S 活性化 I E を含む D C I を受信する受信器を含み、
前記 D C I は信号送信を構成する I E を含むことを特徴とする U E 。

【請求項 1 4】

前記 U E は R S を一度送信することを特徴とする請求項 1 3 に記載の U E 。

【請求項 1 5】

前記 R S 活性化 I E によりトリガー(trigger)される R S 送信が前記基地局から前記 U E に対して以前に構成された、同じタイプの R S 送信が周期的に発生する場合と同じ場合で発生される場合、前記 U E は、前記 R S 活性化 I E によりトリガーされる R S のみを送信することを特徴とする請求項 1 3 に記載の U E 。

【請求項 1 6】

前記 R S 送信のパラメータは、前記基地局から上位階層シグナルリング(higher layer signaling)を通して前記 U E で構成されることを特徴とする請求項 1 3 に記載の U E 。